

第1号議案

令和3年度事業概況

我が国経済は、持ち直し基調を維持しているものの、新型コロナウイルスの影響が経済社会活動の足かせとなっており、業種間による収益格差の拡大も顕著となり二極化の様相を呈しています。

更に、ロシアのウクライナ侵攻による世界的情勢不安は、原油高をはじめあらゆる社会経済面に影響を及ぼしています。

新型コロナウイルス感染症は、10月以降一旦は落ち着きを見せましたが、変異株「オミクロン株」の出現によって、年明け以降感染者が爆発的に増加し、「第6波」の到来となりました。

現在、感染者数は、高止まりの状態が続いており、発生から二年以上経過した今でもいつ終息に向かうのか予測困難な状況にあり、国民の生活に大きな影響を与え続けています。

こうした中、観光需要にあっては、これまで右肩上がり増加してきたインバウンドが消滅し、日本全国における訪日外国人宿泊者数は、コロナ禍の影響で減少した2020年の2,034万人泊から更に79%減の年間421万人泊と激減し、宮城県においても、13万人泊から55%減の6万人泊と大幅に減少しています。

宮城県においては、感染状況に応じて「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」などが発出され、感染状況に合わせた感染拡大防止策が実施されました。

「新しい生活様式」など感染リスクへの対応が定着し、人の移動が自粛されたことなどからバスの利用は低迷した状態にあり、バス事業を取り巻く経営環境は、依然として厳しい状況が続いています。

協会といたしましては、会員の皆様からいただいた新型コロナ影響調査を基に、国や地方公共団体等に対して事業継続のための支援要望活動を継続して行うとともに、地域の皆様に応援をお願いする意見広告の新聞掲載や安心してバスを利用いただくためのコロナ感染対策のホームページ掲載、安全安心メッセージラッピングバスの運行を延長するなどして、県民の皆様にはバスの利用促進を図る広報活動に積極的に取り組みました。

1. 乗合バス事業

地方部における経営環境は、人口減少やバス運転者不足の深刻化、公共交通確保・維持のための公的負担の増加に加え、新型コロナウイルスの影響や燃料価格高騰などにより益々厳しさを増しており、この厳しい経営環境からの脱却は難しい状況にあります。

このような中で、地域の足をどう確保するのが課題となっており、基本的には地方公共団体が中心となり、交通事業者をはじめとする関係者が連携して『地域公共交通計画』を策定し、まちづくりと一体となった地域に適した交通ネットワークの形成に取り組んでいます。

協会といたしましても、関係する会議等に参画するなどして、運送事業者が主体となる安全安心な地域交通の確保維持を推進してまいりました。

次に、バス事故の約3割を占める車内事故防止のために、例年取り組んでいる車内事故防止キャンペーンポスター配付や地方公共団体の広報誌への掲載に加え、車内事故防止啓発動画を東北運輸局や県警、東北六県各県バス協会、関係事業者連携のもと、それぞれのホームページに掲載するなどして広報するとともに、転倒等のリスクが高い高齢者を中心に車内掲示やアナウンス等で事故防止に努めました。

高速道におけるシートベルトの着用については、バス出発時の案内等の対策に取り組みました。

また、乗合事業者に限らず運輸業界全体が、深刻な運転者不足に陥っており、人材確保が喫緊の課題となっております。

バス協会といたしましても、人材確保を重要な課題と捉え、運転者確保のための独自取組(バス運転者採用説明会)を計画しておりましたが、コロナウイルス感染拡大の状況から実施を断念しました。

独自取組は実施できませんでしたが、バス運転士の在籍出向制度や日本バス協会の「バスジョブ事業」活用の周知などに積極的に取り組みました。

引き続き乗合バス事業の安定性・活性化に向けて関係自治体との連携を深め、地域のニーズを踏まえた最適なバス交通の確保を支援してまいります。

2. 貸切バス事業

国土交通省のまとめによりますと、コロナ禍の影響により全国の貸切バス事業216件が事業廃止をしている状況にあります。

県内においても、新型コロナウイルス感染者の増加減少が、そのままバス需要に直結しており、予約とキャンセルが幾度となく繰り返される等大変不安定な経営環境が続きました。

このような中開催された東北デスティネーションキャンペーンは、コロナの影響により多くのイベントやセレモニーが中止となり、期待された効果は限定的なものになってしまいましたが、延期されていたオリンピック東京大会は、多くの会場が無観客で開催される中、宮城県会場は有観客で開催され、大きなトラブルもなく無事に終了し輸送機関としての務めを果たすことができました。

学校行事や大規模イベントも中止や延期等があったものの感染状況を見極めながら実施・開催されるなど多少明るい話題もありましたが、年明けのオミクロン株感染者急増により、貸切バス事業は、また先行き不透明な状況に置かれてしまいました。

軽井沢スキーバス事故のような悲惨な事故を二度と起こさないために設立された「東北貸切バス適正化センター」は、設立から丸5年が過ぎました。

今年度は、管内450営業所を巡回する計画でしたが、年度途中休廃止事業者（営業所）を除く443営業所（うち非対面指導2営業所）の巡回指導が実施されました。

主な指摘項目は、137件となっており、主な指摘内容は①運行管理関係が80件58.4% ②運送引受書及び営業区域・運賃関係が23件16.8% ③帳票類の整備・報告等が14件10.2%の順となっています。

協会といたしましては、貸切バス事業の安全性確保のために、指導における情報等を共有・連携しながら適正な業務執行を求めてきたところです。

また、貸切バスの安全性を客観的に評価する制度でもある安全性評価認定制度について、協会といたしましては、認定取得を呼びかけるとともに、旅行業界や一般の利用者に対し『セーフティバス』のさらなる周知を図り、認定が選択肢の基準となるように、新聞や各種情報誌等の広告媒体を活用して広く周知を図るとともに、認定費用の助成を行うなどして安全性評価認定取得を推進しました。

全国の貸切バス事業者は3,789社あり、そのうち54%の2,064社(一つ星823社、二つ星454社、三つ星787社)が認定を受けております。

宮城県におきましては、106社のうち認定を受けている事業者は65社61%で、うち会員貸切事業者については、75社中59社(一つ星17社、二つ星9社、三つ星33社)が認定を受けており、認定率は79%に達しております。

○バス事業振興補助事業

1. 輸送の安全の確保事業

- ① 安全輸送全体会議
- ② 運行管理者一般講習
- ③ 運転者適性診断・適性診断活用講座・適齢診断
- ④ 交通安全啓発用広報資材等
- ⑤ 救命救急講習会
- ⑥ 脳検診・睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査助成
- ⑦ 貸切バス安全性評価認定制度助成
- ⑧ バス運転者の大型二種免許取得養成助成

2. サービスの改善及び向上に関する事業

- ① バス停留所上屋設置及び修繕等
- ② 利用者案内運行表示器設置
- ③ 仙台駅前バスのりば案内マップ
- ④ 仙台駅周辺バス乗り場サイン修正工事
- ⑤ 宮城県バス協会加盟事業者一覧ポスター
- ⑥ ドラレコ助成
- ⑦ デジタコ助成
- ⑧ コロナウイルス感染症予防対策

3. 地球温暖化防止及び環境保全事業

- ① バス車両購入助成事業

令和3年度事業報告書

自 令和 3年4月 1日
至 令和 4年3月31日

I 会 員 数

一般乗合旅客自動車運送事業	21	事業者
一般貸切旅客自動車運送事業	75	事業者
特定旅客自動車運送事業	15	事業者
計	111	事業者(27社兼業)
	(会員事業者数	81 事業者)

II 会 議

1. 総会

○ 第45回定時総会

令和3年6月15日 出席者 10名 議決書出席63名
「ホテルメトロポリタン仙台」

議 事

- 第1号議案 令和2年度事業報告並びに収支決算の承認について
第2号議案 役員改選に伴う理事及び監事の選任について
報告事項 ・令和3年度事業計画並びに収支予算について

2. 理事会

○ 令和3年5月13日

議 題

- 第1号議案 令和2年度事業報告(案)並びに収支決算(案)について
第2号議案 第45回定時総会の附議事項について
報告事項 ・第6回新型コロナウイルス影響調査結果について

○ 令和3年7月9日

議 題

- 報告事項
- ・代表理事、職務執行理事の職務執行状況報告について
 - ・日本バス協会各委員及び宮城県バス協会専門委員会委員の選出について
 - ・日本バス協会総合安全プラン2025について
 - ・第7回新型コロナウイルス影響調査結果について
 - ・バスの絵コンテストについて
 - ・会費未収金進捗状況について

○ 令和3年10月13日

議 題

- 報告事項
- ・代表理事、職務執行理事の職務執行状況報告について
 - ・令和3年度下期事業推進について
 - ・第8回新型コロナウイルス影響調査結果について
 - ・会費未収金進捗状況について
 - ・公益法人に関する遊休財産について
 - ・JASRAC未収金について

○ 令和3年12月23日

議 題

- 第1号議案 令和3年度会費の減免に
第2号議案 JASRAC未収金の処理に
第3号議案 運輸振興補助積立金の特別積立金への移行に
第4号議案 新規入会申込に
報告事項
- ・代表理事、職務執行理事の職務執行状況報告について
 - ・第9回新型コロナウイルス影響調査結果について
 - ・会費未収金進捗状況について
 - ・交付金運用委員会概要報告について

○ 令和4年2月18日（臨時・書面協議）

協議事項

- 第1号議案 令和4年度会費の減免に

○ 令和4年3月28日

議 題

第1号議案 令和4年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について

- 報告事項
- ・代表理事、職務執行理事の職務執行状況報告について
 - ・第10回新型コロナウイルス影響調査結果について
 - ・「黄色い手帳」協賛について

3. 委員会

○ 貸切委員会

令和3年8月4日 参加者 17名 「丘のホテル」

- 議 題
- (1) 貸切委員会副委員長の選任について
 - (2) 貸切バス事業における手数料について
 - (3) バス運転士の在籍出向（人材交流）について
 - (4) 日バス総合安全プラン2025について

○ 業務委員会

令和3年8月4日 参加者 8名 「丘のホテル」

- 議 題
- (1) 業務委員会副委員長の選任について
 - (2) 仙台駅西口・東口共同施設等について

○ 交付金運用委員会

1. 令和3年8月4日 参加者 17名 「丘のホテル」

- 議 題
- (1) 交付金運用委員会副委員長の選任について
 - (2) 令和3年度宮城県バス事業振興補助事業実施状況について

2. 令和3年12月9日 参加者 11名 「ホテル白萩」

- 議 題
- (1) 令和3年度宮城県バス事業振興補助金推定実績について
 - (2) 令和4年度宮城県バス事業振興補助金事業計画（案）について

○ 安全輸送委員会

1. 令和3年8月6日 参加者 8名 「丘のホテル」

- 議 題 (1) 安全輸送委員会副委員長の選任について
(2) 令和3年度事業計画について
(3) 日バス総合安全プラン2025について

2. 令和3年12月2日 参加者 76名 「メルパーク仙台」

- 議 題 (1) 年末年始の輸送等に関する安全総点検
事業用自動車の安全対策について

講師： 東北運輸局 宮城運輸支局

渡邊雅樹首席陸運技術専門官

- (2) 『ずっと、元気で、働くために』

～個人としてできること、会社ができること～

講師：全国健康保険協会宮城支部 千葉小香枝

宮城県バス協会等主催（令和3年度事業）

- (1) コロナ対策PRラッピングバス運行延長

令和3年3月16日～令和4年9月14日

仙台～石巻線 高速バス 1台

仙台市内 一般乗合バス 1台

- (2) 救命救急講習会

令和4年1月19日 「中田農村環境改善センター」

参加者 6名 実施機関：登米市消防署北出張所

令和4年1月26日 「卸町会館」

参加者 10名 実施機関：仙台市若林消防署

- (3) 運行管理者試験受験対策勉強会

①令和3年7月8日 「卸町会館」

参加者 27名

②令和4年2月3日 「卸町会館」

参加者 31名

(4) 貸切バス事業者を対象とした講習会 (主催：東北運輸局)

令和3年6月30日 「サンフェスタ」

講義：貸切バスの輸送の安全確保の徹底について

参加者 57名

(5) 防災マネジメントセミナー (主催：自動車事故対策機構)

令和4年3月14日 「宮城県トラック会館」

参加者 42名

(6) バス事業振興補助事業実績

①運行管理者 (一般講習)	受講者数	381名
②適性診断 (一般診断)	〃	632名
③ 〃 (初任診断)	〃	186名
④適齢診断	〃	290名
⑤適性診断活用講座	〃	19名
⑥脳検診	受診者数	319名
⑦SAS	〃	649名
⑧ドラレコ助成事業		14台
⑨デジタコ助成事業		14台
⑨新車購入助成事業		12台
⑩中古車購入助成事業		8台